

第2学年 図画工作科 学習指導案 A表現(2)

題材名:「あったらいいな すてきなまどのあるまち」

- 1 日 時 平成29年11月17日(金) 第3校時 10時～11時
2 学 年 第2学年1組 24名 自閉症・情緒障害特別支援学級 1名
3 場 所 第2学年1組 教室

3つの関わり

題材との関わり

アートスイッチが入る提案の言葉

この窓すてきだね。いろんな形や開き方があるよ。見ているだけでワクワクしてくるね。開いて中をのぞくと何が見えるかな。カッターナイフで紙を切るだけで窓が作れるんだよ。さあ、みんなですてきな窓をつくってみよう。最後にすてきな窓のあるまち「2-1タウン」をつくるよ。どんな建物があつたらいいか工夫してつくってみよう。

仲間との関わり

- つくりたい窓、建物のイメージ図を基にどんな窓の形、大きさ、開き方にするかグループで話をさせ、イメージが広がるようにする。
- 表現の意欲を高めるために、制作の途中で友達の仕事のよさや工夫に気付かせたり、アイデアを出し合わせたりして交流させる。

作品との関わり

- ウォッチングタイムで見付けた友達の作品のよさをワークシートに記入させる。それらをグループで交流させ、いろいろなよさに気付かせる。
- 各ワークシートを「アートの足あ〜と」ファイルに保管させ、工夫の仕方に困ったときなどに見返すことができる「ヒント集」として活用させる。

であう

窓を開くのにカッターナイフは便利で使いやすいな。

さぐる

こんな形の窓がつくりたい。こんな開き方の窓もつくってみたいな。

みつめる

〇〇さんの窓の開き方もいいな。中の様子も考えよう。

あらわす

こんなふうに窓が開くといいな。飾りもつけてみようかな。

あじわう

みんなの窓を開いてのぞいてみたいな。すてきなまちができたね。

つくりだす喜びを味わう児童

題材について

本題材は、小学校学習指導要領図画工作第1学年及び第2学年の内容 A 表現(2)を受け、特にウ「身近な材料や扱いやすい用具を手を働かせて使うとともに、表し方を考えて表すこと。」に重点を置いて設定している。

自分のつくりたい窓のある建物をアイディアスケッチで表し、カッターナイフで紙にいろいろな切り込みを入れてできる窓を開く仕組みを使って思い付いたものを表す題材である。窓の形や開け方の他にも、窓を開くと見える中の様子、窓がある建物の形を工夫するなど、カッターナイフという新たな用具を使い、自ら工夫してつくることが楽しみながら想像の世界を広げていくことができる。また、一人一人がつくった建物でまちをつくることにより、自分達のまちにあったらしい建物を具体的に思い浮かべ、アイディアを広げていくことができる。

児童の実態について

図画工作についてのアンケートによると「便利な道具によって楽しくつくったことがある。」と回答した児童は、80%いた。その理由として、「道具を使うと自分の思うものをつくれるから。」、「道具を使うことが楽しいから。」と答えている。しかし、楽しさを感じられない理由として、「はさみでものを切るのが難しい」、「のり、テープなどを使って思うように形がつかれない。」と答えている児童も数名いる。その数名の児童は、つくりたいものや表現してみたいという意欲・関心はあるものの、はさみの刃先で線が切り取れなかったり、接着ができなかったりと、道具を使うことに慣れていない。

1学期の「くしゃくしゃぎゅっ」の学習では、紙袋に新聞紙を詰めて膨らませたり、ひもを使って袋を縛ったりして、手を働かせながら自分なりの表現を楽しみ、つくりたい形を立体的に表すことができた。

指導にあたって

題材との出会いでは、写真、見本を提示したり、窓の形、開け閉めの仕方等児童が窓について知っていることについて話をさせたり、まちをつくることやカッターナイフという道具を使って表すことのよさを伝えたりして、開く窓をつくることへの興味・関心を高めるようにする。

カッターナイフを初めて使うので、「練習用シート」を用いてカッターナイフの使い方に慣れさせる。「練習用シート」は曲線、直線を切らせる練習だけでなく、「片方に開ける」、「両サイドに開ける」、「上に開ける」、「四方に開ける」など基本的な方法を紹介し、「切って開いて窓を開ける」という表現方法についてイメージをもたせながら、刃を人に向けない、道具を持って立ち歩かないなどきまりを守らせて、安全に作業させる。

イメージした窓や中の様子を言葉や絵でまとめたアイディアスケッチや、ウォッチングタイムで交流し合った際に受けたアドバイスや気づき、新たなアイディアなどを書き込ませたワークシートを「アートの足あと」ファイルに保管させておく。それらを、工夫の仕方や表し方など困った時に手がかりにする「ヒント集」として活用するようにする。

鑑賞では、一人一人の作品を集めて並べて「2-1タウン」をつくらせ、友達の表し方で参考になったことを全体交流の場で発表させ、作品の工夫やよさに気付くようにする。

題材の目標及び評価規準

題材の目標

- カッターナイフを使って窓のある建物をつくることに興味をもつことができる。【関・意・態】
- 面白い窓の形、開き方を考えたり、窓の中に見える楽しいものを思い付いたりすることができる。【発・構】
- つくりたい窓の形に合わせて、カッターナイフの使い方を工夫することができる。【技】
- 自分や友達の商品を見合って、窓の形や建物の様子の工夫やよさに気付くことができる。【鑑】

題材の評価規準

ア 造形への関心・意欲・態度	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
・カッターナイフを使って窓のある建物をつくることに興味をもっている。	・面白い窓の形、開き方を考えたり、窓の中に見える楽しいものを思い付いたりしている。	・つくりたい窓の形に合わせて、カッターナイフの使い方を工夫している。	・自分や友達の商品を見合って、窓の形や建物の様子の工夫やよさに気付いている。

指導と評価の計画

(全7時間)

次	学 習 内 容(時間)	評 価					
		関	発	創	鑑	評価規準	評価方法
第 一 次	<p>見ているだけでワクワクしてくるようなまどのあるたてものを考えて、カッターナイフでまどをひらいてみよう。</p> <p>○写真、見本を見て窓の形、開け方を知り、紙を切り開く道具の一つとしてカッターナイフが便利であることに気付いたり、つくりたい窓、建物、中の様子を考えアイデアスケッチにまとめたりする。</p> <p>であう (1)</p>	◎				◎カッターナイフを使って窓のある建物をつくることに興味をもっている。	行動観察、 アイデアスケッチ
	<p>○カッターナイフの安全な持ち方、使い方を守って、「練習用シート」にかかれた線を切ったり、つくりたい窓を「練習用シート」にかいて、切り開いたりする。 (2)</p> <p>さぐる</p>						

<p>第二次</p>	<p>まどのあるたてものをつくり、まどをあけたり、中の子を考えると絵にかいたりしてみよう。</p> <p>○アイデアスケッチを基につくりたい窓の形、開きたい形を工作用紙にかく。(1)</p>		◎		◎面白い窓の形、開き方を考えている。	作品、発言
<p>みつける</p>	<p>○ウォッチングタイムで見つけた友達の窓のよさを取り入れ、つくりたい窓をかき、切り開く。中の様子を考えると画用紙に絵をかく。(2)【本時5/7】</p>	○		◎	◎面白い窓の形、開き方を考えたり、窓の中に見える楽しいものを思い付いたりしている。 ◎線や窓の形に合わせて、カッターナイフの使い方を工夫している。	作品、発言 ワークシート 作品、行動観察
<p>あらわす</p>						
<p>第三次</p>	<p>できた作ひんをならべて、「2-1タウン」をつくらう。</p> <p>○一人一人の作品を集めて並べて「2-1タウン」をつくり、友達の表し方で参考になったことを全体交流の場で伝え合う。(1)</p>			◎	◎自分や友達の作品を見合っ、窓の形や建物の様子の工夫やよさに気付いている。	作品、発言、ワークシート
<p>あじわう</p>						

本時の展開

(1) 本時の目標 カッターナイフを使って、つくりたい窓の形や開き方を考え、自分の思う窓をつくることができる。

(2) 準備物

〔指導者〕 見本, カッターナイフ, カッターマット, 工作用紙, カッターナイフの使い方の掲示物, サインペン, 作品カード, ワークシート, 練習用シート, 画用紙

〔児童〕 クレヨン・パス, 色鉛筆, ものさし, はさみ, のり, マスキングテープ, リボン

(3) 展開 (本時3/5)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	主 な 評 価 規 準 【観点】(方法)
<p>1 前時の学習を思い出し、本時のめあてを知る。</p>	<p>・見本を提示したり、前時までの活動を振り返らせたりして、本時の活動の意欲を高める。</p>	
<p>④いろいろなまどのかたち, ひらきかたを考え, お気に入りのまどをつくろう。</p>		
<p>2 前時に工作用紙にかいた窓を友達と見せ合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォッチングタイムで作品を紹介するためにワークシートにメモをする。 ・ウォッチングタイムにみんなで作品を見合う。 「この窓の形すてきたな。わたしもつくってみよう」 「こんな開き方もあるんだね」 「窓の数を増やしたよ」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【仲間同士と関わり合う場面】 ウォッチングタイムで見付けたまねしたい窓の表し方や気付きなどをメモしたワークシートを基に話し合いをさせ、友達のアイデアのよさに気付かせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォッチングタイムや話し合いから広がったイメージで、新しくつくりたい窓を工作用紙にかきこむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの話型を基に伝えたいことをまとめて、メモしておく。 ・ワークシートでまとめたメモを基に作品を紹介するように伝える。 ・まねしたいこと気付いたことなどがあつたら、ワークシートにメモしておくように伝える。 ・ウォッチングタイムで気付いてメモしたことを基につくりたい窓について話し合わせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ウォッチングタイムの後で新しくつくりたくなった窓ができた人は、工作用紙に新しい線をかき込んでいいことを伝える。 <p><C児への手立て></p>	<p>【発想や構想の能力】 面白い窓の形, 開き方を考えている。 (発言, 作品, ワークシート)</p>

<p>3 カッターナイフを使って窓を切り開く。 「上下に開く窓をつくったよ」 「線にそって切れたよ」 「水族館をつくりたいので、魚の形にしたよ」</p>	<p>・「アートの足あ〜と」ファイルに保管しているアイデアスケッチを一緒に見返したり、ウォッチングタイムで見つけた新しい窓をかきこんだりするようにアドバイスする。</p>	<p>【創造的な技能】 つくりたい窓の形に合わせて、カッターナイフの使い方を工夫している。 (作品, 行動観察)</p>
<p>4 本時のまとめ,次時の活動を知る。</p>	<p>・カッターナイフの持ち方, 切り方に気を付けて作業できているか, 思う形を切れているかを観察し, 思うように作業ができていない児童がいれば, 一緒に作業をする。</p> <p><C児への手立て></p> <p>・「練習用シート」を使って, 窓を開くために切ったり, かいた線を一緒に確認したり, カッターナイフを使って一緒に作業をしたりする。</p> <p>・全部窓を切り開いた児童には, 中の様子の下絵を小さな画用紙にかいてもいいことを伝える。</p> <p>・次時に, 中の様子を絵で表したり, 建物にその絵を貼り付けたりして作品を完成させることを伝える。</p>	
<p>児童のまとめ例 いろいろなひらき方のまどをつかって, ひらきました。 カッターナイフをつかうと, かんたんにまどをつくれるのでべんりだと思いました。 水族館をつくりたいので, 魚の形のまどをつくりました。</p>		

(4) 板書計画

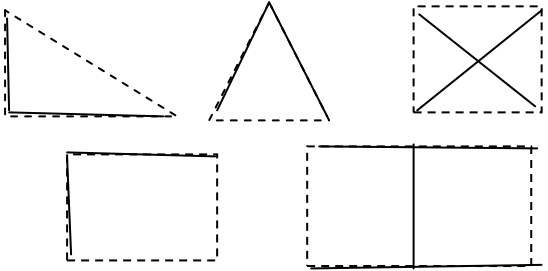
11/17 あったらしいな, すてきなまどのあるまち

かんがえよう

いろいろやってみよう

㊦ いろいろなまどのかたち, ひらきかたを考え, お気に入りのまどをつくらう。

ひらきかた



カッターナイフの使い方・持ち方
(ポスター)

見本
(実物)

見本
(実物)

見本
(実物)